

110101通信業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労働 者規 模
2022	12	16 ～ 18	技術責任者としてテレビ番組収録の立合いのため、ホール内の西階段を移動していたところ、中段辺りから墜落して1階コンクリート床で後頭部を強打した結果、くも膜下出血を負い、休業見込みは2か月とされていたものの、快方に向かわず、同月中に死亡したものの。	413	1	500 ～ 999
2021	7	8 ～ 10	被災労働者が自家乗用車を運転し、港から海に突っ込んで海中に沈み溺死したものの。長時間労働による精神疾患発症により自死した。	921	90	100 ～ 299
2021	7	10 ～ 12	原付バイクで郵便配達中の被災者が、市道交差点を北側から西側に右折しようとしていたところ、後続の加害者が運転する普通乗用車に追突され、乗用車に原付バイクごと引きずられ、南西側のビルの壁面と乗用車との間に挟まれたものの。	231	17	30～ 49
2021	10	12 ～ 14	自動二輪車（110ccカブ）で郵便配達中の被災者が携帯していたGPS端末が1時間移動しなかったことから事務所でアラームが鳴り、付近で配達中の同僚に現場確認に行かせたところ、道路から約1m下がった場所で二輪車の下敷きになっている被災者を発見したものの。	231	17	100 ～ 299
2021	12	10 ～ 12	自動車で荷物の集荷に向かう途中、被災者が信号機のない交差点に一時停止をせず侵入したところ、3tトラックと衝突して負傷し、脳挫傷により入院していたが、入院中に誤嚥性肺炎により死亡したものの。	231	17	100 ～ 299
2020	2	0 ～	業務に起因してうつ病となり、自殺したものの。	921	90	50～ 99

		2				
2020	2	12 ～ 14	自動二輪車で郵便配達中、センターラインのない市道を東進していたところ、何らかの原因により対向してきた軽貨物自動車側にはみ出してしまったために正面衝突し、大腿骨骨折等の外傷性ショックにより死亡したものの。なお、災害発生時の天候は曇り、路面に積雪はなく、乾燥状態であったとのこと。	231	17 ～ 299	100
2020	3	18 ～ 20	郵便収集を終え、事業場敷地外にある駐車場に四輪車を駐車し、事業場へ戻る途中、交差点の横断歩道を北から南へ渡っている際に西方から直進してきた乗用車と衝突した。被災者は病院に搬送され治療を受けていたが、後日死亡した。	231	17 ～ 499	300
2020	11	18 ～ 20	県道をバイクで配達中、T字路で一旦停止していた被災者のバイクに、単独事故を発生させた自動車が激突してきたもの。	231	17 ～ 299	100
2019	2	14 ～ 16	テレビ番組収録の作業下見のため、県道交差点を自転車で走行中、左側から走行してきたトラックに衝突されたもの。	221	17 ～ 299	100
2019	4	12 ～ 14	バイクによる郵便配達作業において、被災者は右折のため、国道のセンターラインの内側に停車していたところ、対向してきた乗用車に正面衝突され、さらにバイクの後方から走行してきた軽乗用車に衝突されて、搬送先の病院で死亡が確認された。	231	17 ～ 299	100
2019	8	14 ～ 16	配達業務中に路上で倒れているところを発見され、救急搬送されるも翌日に死亡した。	715	11 ～ 499	300
2019	9	14 ～ 16	天井に設置された防犯カメラの配線取り回しを直す作業を、脚立（天板高さ1.43m）に乗り行っていた際、脚立から落ち床面に後頭部を打った。	371	1 ～ 499	300
		18	原動機付自転車で配達中の被災者が信号のある交差点内で右折しようとし			100

2019	9	～ 20	た際に、反対車線から直進してきた乗用車と衝突したものの。	231	17	～ 299
2018	1	14 ～ 15	配達のため集配センターを2輪車で出発した。近隣住民からバイクが止まったままになっている旨の通報があり、周辺を捜索したが被災者を発見できず、連絡も取れない状況であった。午後倒れている被災者が発見され、直ちに病院に緊急搬送されたが、その後死亡が確認された。	921	90	～ 299
2018	3	18 ～ 19	バイクで郵便配達中に運転を誤り、ガードレールに接触、電柱に衝突した。	231	17	～ 499
2018	6	12 ～ 13	郵便物の集配業務のため、軽ワゴン車を運転して郵便局を出発し県道を走行中、道路右側の電信柱に衝突し、頭部外傷により死亡した。	231	17	～ 499
2018	8	10 ～ 11	被災者は配達場所に向かうため、バイクを運転して国道を走行していた。右折をするため、バイクを停車していたところ、後続の軽乗用車に追突され転倒して投げ出された被災者は対向してきた普通乗用車にはねられ死亡した。	231	17	～ 299
2018	10	12 ～ 13	郵便配達のため原動機付き自転車を運転して砂利道を法定速度内で走行していたところ、減速して道沿いを曲がることなく、前方の河川に直進して転落。胸部圧迫等により死亡した。	231	17	～ 299
2017	8	16 ～ 17	被災者がバイクで荷物を配達中、優先道路を走行する被災者が信号のない交差点に南方向から侵入したところ、東方向から軽自動車が一時的停止標識があるにも関わらず、一時停止せずに交差点に進入したことにより、被災者は軽自動車を避けることができずに衝突し、出血性ショックで死亡した。	231	17	～ 299
2017	8	10 ～ 11	倉庫作業場において、パレットからフリーローラーに荷物を降ろすピックアップ作業に従事していた。午前の作業終了後、休憩に入り休憩後に休憩室から出ようとしたところ、歩行不能となり病院へ救急搬送された。療養中であったが後日死亡した。	715	11	～ 499

2017	11	12 ～ 13	信号機のない交差点で、被災者が次の配達先へ向かうため自動二輪車（オートバイ）で交差点内へ直進で進入したところ、左側から来た相手方乗用車と衝突した。	231	17	～ 299	100
2016	1	13 ～ 14	郵便物の配達のため、バイクで橋を走行中、路面が凍結していたため、スリップし、転倒した。その際、バイクから投げ出され、被災者は、川へ転落した。河床にうつ伏せの状態で見るとところを通行人が発見し、救急搬送するも、翌日、病院にて死亡（死因：溺死）が確認された。	231	17	～ 499	300
2016	6	16 ～ 17	被災者が二輪車で直進中、道路中央で右折待ちのため停車している自動車の右側後方より飛び出してきた加害者側自動車と激突、被災者が加害者側自動車の下敷きとなった。被災者が病院に運ばれたが死亡が確認された。	231	17	～	300
2016	11	16 ～ 17	郵便物等の集荷作業のために軽四自動車を運転中に、交差点に進入したところ、右方から直進してきた大型トラックと出会い頭の衝突事故を起こした。	221	17	～ 299	100
2015	5	16 ～ 17	被災者は、配達準備のため、区分場内において配達伝票の整理を立位作業で行っていたところ、そのままの状態の後方へ倒れ右頭部を作業床で打つたもの。	921	2	～ 499	300
2015	10	17 ～ 18	集荷を終え、事業場へ戻るため、貨物自動車でも尾道松江線を走行していたところ、心筋梗塞を発症し、対向車線にはみ出し、対向車線側の法面に乗り上げて横転した。搬送先の病院で死亡が確認された。	921	90	～ 299	100
2015	8	11 ～ 12	被災者は自動二輪車（排気量110cc）で郵便配達中、国道から工場に入る私有の専用道路（幅員6.4m）上に張られた進入禁止用の鎖に衝突し、その反動で鎖が跳ね上がり、鎖が被災者の頸部に当たって気管断裂により死亡した。災害当日、郵便配達先の工場は定休日であった。	231	3	～ 299	100
2015	4	21 ～ 22	県道脇の水路で、U字溝の縁に顔面をぶつけ、バイクの下敷きになっている被災者を捜していた同僚が発見した。被災者は、配達の業務中であった。被災時は雨が降ったり止んだりの天候であった。災害が発生した県道は緩やかなカーブとなっており、街灯やガードレールは設けられていな	231	17	～ 99	50～

			かった。道路から水路の底までは高さ約2メートルであった。			
2015	1	13 ～ 14	被災者は、年賀状を配達し13時頃に郵便局へ戻る予定であったが、帰って来なかった為、同僚が搜索したところ、配達ルート在市道脇の川（幅、深さとも約2m、水深約1cm）にバイクごと転落し死亡しているのを、16時頃に発見されたもの。被災者のバイクには6軒分の年賀状が残っていたことから、13時頃に被災したものと推測される。	231	17	300 ～
2014	2	10 ～ 11	郵便配達を行う被災者は、自動二輪車を運転して信号の無い交差点に進入したところ、交差点右側から直進してきた4トントラックと出会い頭に衝突した。被災者は、衝突により約8m先の路上に投げ出された。	231	17	100 ～ 299
2014	8	11 ～ 12	バイクで郵便の配達中、道路を直進し、交差点に差し掛かったところ、対向車の軽トラックが急に右折し、衝突した。	221	17	50～ 99
2014	8	19 ～ 20	自転車で帰局中、バランスを崩し、路側帯の下約2メートルの水田へ転落した。	362	17	100 ～ 299
2014	8	10 ～ 11	ミニバイク2台で同僚と縦列で走行中、信号の無い交差点にさしかかった際、交差点に進入してきた乗用車と出会い頭に衝突した。	231	17	1～9
2014	9	10 ～ 11	県道にて、バイクで郵便配達中、信号のない交差点から出てきた軽乗用車にはねられた。	231	17	300 ～ 499
2013	4	13 ～ 14	被災者は、町道に埋設されている地下ケーブルのマンホール内の点検作業を行っていた。町道の片側を車線規制して現場に誘導員を配置していたにも関わらず、一般住民が運転する軽自動車（作業区域内）に侵入し、車線規制内に停車していた誘導員用の軽トラックに追突し、その衝突の反動で移動した軽トラックと、マンホール付近で作業をしていた被災者の前方に停車していたポンプ車との間に被災者が挟まれた。	231	17	10～ 29

2013	11	13 ～ 14	オートバイによる配達作業終了後、郵便局に戻る途中、乗用車と衝突し、全身を強打し死亡した。	231	17	300 ～ 499
2013	12	17 ～ 18	被災者は、配達用の自動二輪車で県道を走行中、わき道から出てきた軽自動車に追突・投げ出され、胸や腹を強く打ち死亡した。	231	17	100 ～ 299
2012	7	19 ～ 20	被災者は高所作業車を操作し、ケーブルテレビ線の引き込み作業を単独で行っていた。引き込み作業の終了後、当該高所作業車のアウトリガを収納する作業をしていたところ、高所作業車が突然動き出し、約30m逸走した後、道路脇の2階建て家屋に激突した。この時、被災者の上半身は運転席に入っていたため、運転席ドアが家屋にぶつかったことにより、運転席ドアと運転席に上半身を挟まれる形で被災した。	146	7	1～9
2012	8	13 ～ 14	被災者は、集金業務のために原付バイクを運転し、市道を走行中、中央車線を越えて走行してきた普通乗用車に衝突し、救急搬送先の病院で死亡した。	231	17	50～ 99
2012	12	16 ～ 17	被災者は郵便の集配業務中に立ち寄った駅の建物前にいたところ、縁石に乗り上げ突っ込んできた普通自動車に衝突され、車と建物の間にはさまれ死亡した。	231	17	100 ～ 299
2012	9	9 ～ 10	被災者は携帯電話のアンテナの保守点検作業を行うため、一人で山中の登山道をアンテナ塔へ向かって歩いていたところ、当該登山道から最大斜度約35度の箇所を約1m滑落した。これにより背負っていた機材を自力では引き上げられなくなったため、携帯電話を使って事業主に応援を頼んだが、事業主の手配により現場に到着した同僚により、滑落した箇所より15mほど離れた場所で、膝をつきうつ伏せで死亡している被災者が発見された。	711	1	10～ 29
2012	10	14 ～ 15	被災者は狭い道路を原動機付自転車で進行し、主要道路との信号機のない交差点で右折したところ、右側から主要道路を直進してき自動二輪車と衝突し、重症頭部外傷により死亡した。	231	17	100 ～ 299

2012	5	11 ～ 12	被災者は脇道から片側2車線の道路を横断しようとした際、手前車線の車が停車してくれたのでそのまま進入したところ、右側車線を直進してきた乗用車と衝突した。	231	17	100 ～ 299
2012	8	16 ～ 17	バイクで郵便物の配達中、交差点を直進していたところ、被災者の進行方向右側から交差点内に進入してきた軽自動車に衝突され、死亡した。	231	17	10～ 29
2012	12	13 ～ 14	優先道路をバイクで走行中、交差点で一時停止せずに走行してきた加害車両と衝突した。	231	17	300 ～
2012	8	11 ～ 12	被災者は郵便配達用のバイクにより郵便物を積んで配達作業中、市道を走行していたところ、片側1車線の緩い右カーブで対向してきた路線バスがセンターラインをはみ出してきたため、バスの前方右側にバイクが正面衝突。頭や胸を強打し、搬送先の病院で死亡した。	231	17	100 ～ 299
2011	1	10 ～ 11	勤務終了後、1階事務室から2階にあるロッカーへ移動するため、階段を上っていたところ、3段目あたりから後方へ転倒し負傷した。	413	1	50～ 99
2011	1	15 ～ 16	被災者は、スタジオの設備点検するために2階副調整室からスタジオに通ずる階段を降りようとした際、階段に取り付けられていた手すりを乗り越えて、高さ約4mのところからスタジオ内の床面に墜落した。	413	1	1～9
2011	8	0 ～ 1	深夜における下水道工事に、地下埋設設備（ケーブル）の立会中、地下埋設位置を確認するため、現場付近の道路上に設置しているマンホールへ移動していたところ、後方から走行してきたトラック（2t）にはねられた。	221	17	100 ～ 299
2011	10	14 ～ 15	勾配6度の坂道に設置された電柱の電話線の故障修理の作業において、同電柱に掛けた伸縮はしごから降りる際に、被災者が足を滑らせ約3m（推定）の高さからアスファルトの地面に墜落し、平成23年11月5日午前0時52分に搬送先の病院にて死亡したもの。	371	1	30～ 49

2011	10	12 ～ 13	被災者は、配達のため原動機付き自転車を運転中、道幅3.9m、緩い下り坂の左カーブ（中央線なし）において、坂を登ってきた対向車（10tトラック）と正面衝突し、頭部等全身を強打して約6時間後に死亡したものの。	221	17	～ 299	100
2011	12	17 ～ 18	配達中T字路に於いて車両（郵送用バイク）から投げ出された所に10トンミキサー車が直進、轢かれたもの。投げ出された原因については警察にて捜査中（加害者は身柄拘束中）転倒したバイク近くに緑石があった。	221	17	～	300
2010	12	19 ～ 20	簡易書留の配達に出たまま帰らないため同僚が警察に通報し、警察署員が配達車両から約30m離れた町道脇の川（幅2.2m、深さ2.8m、水深10cm）に転落しているのを発見した。配達物を手に持ち、うつ伏せに倒れていた状況から、配達先の門前に車両を停車して、門が閉まっていたため不在を確かめようと配達先の裏に回ったところ、夜で街灯も近くにないため、足下の川が見えずに転落したものとみられる。	719	1	～ 299	100
2010	10	19 ～ 20	配達のため集配用バイクで道路を走行中、バイクとともに転倒したもの。転倒したバイクを立てようとしていた被災者を通りがかりの通行人が発見し、話しかけたが意識レベルが低かったため救急車を要請。病院に搬送されたが、脳の損傷により死亡した。	231	17	～ 299	100
2010	8	0 ～ 1	6日前に発生したヘリコプター墜落現場を取材するため、事故前日、被災者2名がガイドと共に国道沿いから徒歩で入山したが、墜落現場が確認できず、いったん入山地点まで戻った。その後、被災者2名のみで再び入山するものの、夜から連絡が取れなくなった。山岳救助隊が捜索し、死亡（溺死）している2人を発見した。	713	10	～ 9999	1001
2010	8	0 ～ 1	6日前に発生したヘリコプター墜落現場を取材するため、事故前日、被災者2名がガイドと共に国道沿いから徒歩で入山したが、墜落現場が確認できず、いったん入山地点まで戻った。その後、被災者2名のみで再び入山するものの、夜から連絡が取れなくなった。山岳救助隊が捜索し、死亡（溺死）している2人を発見した。	713	10	～ 9999	1001
			制限速度30km/hの市道において、90ccのオートバイで郵便配達				



2010	5	5 ～ 6	を終え支店へ戻る途中、見通しの悪い緩やかな下り坂で、対向の乗用車を手前約30m付近で確認しブレーキをかけたが、速度超過により停止出来ずに転倒した。その弾みで相手車両のフロントバンパー右角に頭部を強打した。被災後すぐに病院に運ばれたが、翌日未明に病院にて死亡が確認された。	231	17	50～ 99
2010	1	12 ～ 13	被災者は、新しく配達する地域を覚えるため、バイクを運転する配達担当者について、被災者もバイクを運転していた。配達担当者は見通しの悪い左カーブを曲がり、数十m先の交差点で停止していたが、被災者が付いて来ないことに気が付き、カーブの所まで戻ったところ、道路沿いの水路（高さ1mくらいのコンクリート製）へバイクごと被災者が転落しているのを発見した。その時、被災者は意識不明で呼吸もしていなかった。	231	17	100 ～ 299
2009	3	12 ～ 13	電話通信設備の修理作業を行うため電柱に昇り高さ約5mの箇所で安全帯をかけようとして誤って墜落した。	419	1	10～ 29
2009	7	11 ～ 12	保険の営業活動中、バイクで道路を走行していた被災者が、点滅信号交差点の黄色点滅側から交差点に進入したところ、赤点滅の左側方道路から走行してきた普通乗用車と交差点内で衝突し、約10m飛ばされた。	231	17	30～ 49
2009	5	10 ～ 11	被災者は、オートバイにて郵便配達中に東側より信号のない交差点へ進入したところ、南側より交差点に進入してきたトレーラーと衝突した。被災者は、搬送先の病院にて死亡した。	221	17	100 ～ 299
2009	12	14 ～ 15	郵便配達でバイクを運転中、木製の橋を通行したところ、橋の表面が湿っていたためタイヤがスリップし、バランスを崩し、橋から下の川へ転落した。	231	17	30～ 49
2009	12	21 ～ 22	旧館2階エレベーター乗り場付近で、被災者が操作していた構内運搬車（バッテリー式・牽引車）から牽引していたパレットを外した後、被災者が構内運搬車を後進させた時、エレベーターの乗り場側ドアに激突した。この激突によりドアが敷居からはずれてドアの下部に隙間が生じ、被災者はこの隙間から構内運搬車とともに1階に停止していたエレベーター搬器	229	1	1001 ～ 9999

			上に墜落し、搬器上のはりとハンドル等にはさまれた。			
2009	12	14 ～ 15	バイクで郵便物の配送中、次の配送先へ行くため見通しのよい直線道路を走行していたところ、前方に停車していたダンプカーに追突した。	231	17	100 ～ 299
2008	11	13 ～ 14	被災者は営業活動中に90ccのバイクで道路を走行中、転倒して対向車線を走行してきた自動車と衝突し死亡した。	231	17	30～ 49
2008	8	15 ～ 16	自動2輪車（90cc）で郵便配達業務中に住宅地の交差点に進入したところ、同交差点に左方より進入してきた乗用車と衝突して死亡した。	231	17	100 ～ 299
2008	2	12 ～ 13	自動二輪車（90cc）で郵便配達中に交差点で軽自動車と出会い頭に衝突して死亡した。	231	17	100 ～ 299
2008	9	14 ～ 15	被災者は、軽ワゴン車で郵便物の配達を終了して集配センターへ戻る途中、信号機のある交差点で普通乗用車と出会い頭に衝突した。	231	17	300 ～
2008	5	10 ～ 11	高速自動車道において、渋滞のため停車中の車列に大型トラックが追突して多重衝突となり、6台のうち4台が炎上し、最後尾で追突された乗用車に乗車していた2名が焼死した。	231	17	50～ 99
2008	5	10 ～ 11	高速自動車道において、渋滞のため停車中の車列に大型トラックが追突して多重衝突となり、6台のうち4台が炎上し、最後尾で追突された乗用車に乗車していた2名が焼死した。	231	17	50～ 99
2008	9	12 ～ 13	バイクで交差点を走行中に左側から進入してきた乗用車が側面に衝突して交差点の角にあったカーブミラーへ飛ばされた。	231	17	300 ～ 499
2008	11	13	バイクで配達先に向かう途中、市道の十字路で左方から走行してきた乗用車と衝突した。	231	17	100 ～

		14				299
2008	2	15 ～ 16	配達終了後に給油に向かう途中転倒した。	231	17	100 ～ 299
2008	2	16 ～ 17	配達を終えて帰社するためにバイクで優先道路を走行中、右側から走行してきた軽自動車と衝突した。	231	17	300 ～
2008	12	14 ～ 15	被災者は、客先に向かうためバイクで国道上を走行中にトンネルを抜けた辺りで強風に煽られ体勢を崩した。その際、街路灯の縁石に接触して街路灯側に転倒して身体がバイクから離れ、道路に投げ出された。	231	17	10～ 29
2008	6	18 ～ 19	番組収録後、出張先のホテルで死亡した。	921	90	100 ～ 299
2008	7	14 ～ 15	被災者は、郵便車（軽自動車）で集配業務中、踏切（警報機あり遮断機なし）を横断中に普通列車（二両編成）と衝突して死亡した。列車は、当該踏切の手前左カーブから直線に差し掛かった時に踏切内に進入している郵便車に気が付き、急ブレーキをかけたが間にあわなかった。	231	17	100 ～ 299
2007	11	13 ～ 14	市道において小包の配達作業を軽四輪車により行っていた時に、次の配達先へ向かう途中で伝票が運転席床面に落ちたため反射的に拾おうとしたところ、ハンドル操作を誤り進行方向左側の道路脇の電柱（コンクリート製）に激突した。	231	17	300 ～ 499
2007	12	19 ～ 20	郵便物配達中に被災者が対向車線で離合待ち合わせをしていた車とすれ違う際、道路左側の蓋がない側溝（幅1.2m、深さ1m）にバイクごと墜落し死亡した。	231	17	100 ～ 299
2007	11	10 ～ 11	配達業務中の被災者が運転する原動機付自転車が、片側1車線の国道を直進走行中、路地に入るため右折して来た対向車両と衝突した。	231	17	300 ～

2006	12	16 ～ 17	電柱上で設備点検作業を行なっていたところ、安全带ランヤードのフックと補助フックの掛け違いにより高さ約8 m下の河川に墜落した。	418	1	30～ 49
2006	12	10 ～ 11	片側一車線の見通しのよい道路をバイクで直進中、進行方向左側の道路から右折しようとして出てきた軽自動車と正面衝突した。	231	17	50～ 99
2006	12	11 ～ 12	集配のため、市道（緩やかに蛇行した、幅約1.5 mのコンクリート道）をバイクで走行中に道路右側に設けられた用水路（深さ約1 m、幅約80 cm、水深約5 cm）に転落した。	231	17	50～ 99
2006	12	20 ～ 21	被災者が配達作業中、バイクで右折しながら配達先宅から車道に出たところ、後方から直進してきた普通乗用車に追突された。	231	17	100 ～ 299
2006	10	16 ～ 17	基地局開設の現地調査のため、社有車で走行中国道付近の崖下に車両ごと墜落した。	231	17	100 ～ 299
2006	10	9 ～ 10	片側3車線の十字路交差点を右折しようとしたところ、対向車線に右折車両がいたため、直進車両を確認しようとしたところ、直進してきた対向車両と衝突した。	231	17	300 ～ 499
2006	10	14 ～ 15	被災者は、配達物の配達のため、バイク（90cc）で走行中、信号及び停止線の無い市道交差点を右折しようと、東側の道路から交差点に進入したところ、北側の道路から交差点に進入してきた軽トラックと出合い頭に衝突した。	231	17	30～ 49
2006	2	13 ～ 14	配達するため、バイク（90cc）を運転し、国道（片側一車線の直線道路）を走行中、信号のない交差点を右折しようとしたところ、対向してきた大型トラックと正面衝突した。	231	17	10～ 29
2005	10	18 ～	オートバイで走行中、右折しようとしたところ、対向車線を直進してきた普通自動車に衝突された。	231	17	100 ～

		19				299
2005	7	11 ～ 12	オートバイにて走行中、交差点に優先道路側から進入したところ、右手側から交差点に進入してきたトラックと衝突した。	231	17	100 ～ 299
2005	10	11 ～ 12	原動機付き自転車（バイク）に乗って配達に行く途中、右折のため道路のセンターラインに寄ったところ、後続の普通乗用車が追突した。	231	17	50～ 99
2005	6	11 ～ 12	乗用車で交差点を左折したところ、赤信号無視で走行してきた普通乗用車に後方から追突された。	231	17	100 ～ 299
2005	1	14 ～ 15	郵便物を持って階段を下りようとしたところ、階段の上部でバランスを崩し、最下段まで転落した。	413	1	100 ～ 299
2005	8	14 ～ 15	オートバイを運転し、丁字路の交差道路を直進したところ、当該交差点にバックで進入してきたトラックと衝突した。	221	17	10～ 29
2005	7	13 ～ 14	自転車で走行中、見通しの悪い交差点でワゴン車と衝突した。	362	17	10～ 29
2003	12	18 ～ 19	バイクで郵便配達のため青信号で国道を左折したときに、駐車場へ入ろうと右折してきた軽トラックと激突した。	221	17	50～ 99
2003	11	7 ～ 8	遮断機の下りた踏切を通過しようとして踏切内に立ち上がったときに、急行電車の通過で起きた風にあおられて転倒し地面に頭部を強打した。	232	2	300 ～ 499
2003	10	～ 14	ミニバイクで集金業務中、市道の交差点で乗用車と出合い頭に衝突した。	231	17	100 ～

		15				299
2003	9	0 ～ 1	バイクで郵便物の配達中、市道から民家に入る私道に設けられていた幅約1.65m、長さ約2.7mのコンクリート製橋の付近から約4m下の小川（幅約2m、深さ約30cm）に転落して水死した。	231	17	10～ 29
2003	5	11 ～ 12	郵便配達のため歩道に立っていたときに、対向車線をはみ出し縁石を乗り越え走行してきた乗用車に激突された。	231	17	30～ 49
2003	4	17 ～ 18	訪問先で対応中に気分が悪くなり、近くの病院で治療を受けたのち迎いの家族とともに帰宅したが、再び気分が悪くなったので救急車で緊急入院し検査中に意識がなくなった。	911	90	100 ～ 299
2003	1	18 ～ 19	直行直帰の日帰り出張の帰りに、横断歩道を横断中、乗用車にはねられた。	231	17	100 ～ 299
2002	11	17 ～ 18	バイクによる郵便配達で、不規則なT字型交差点を右折しようとしたときに、対向車線を直進してきた2人乗りの自動二輪車と衝突し約10m飛ばされた。	231	17	100 ～ 299
2002	10	9 ～ 10	郵便物の集配のためバイクで走行中、対向車が追い越し途中にバイクを発見して走行車線に戻ろうとハンドルを切ったがハンドル操作が急であったためコントロールを失い、バイク側の車線に侵入してきて衝突された。	231	17	300 ～
2002	2	9 ～ 10	250ccバイクで集荷先へ向って走行中、交差点において対向車線の右折帯から右折してきたワゴン車と衝突した。	231	17	10～ 29
2002	10	15 ～ 16	放送局の取材班3人とパキスタン人の運転手の乗った車が、道路から100m下の川に転落し4人とも死亡した。	231	17	1000 ～ 9999
2002	7	14 ～	90ccオートバイで郵便物の午後の集配のため、郵便局から出て国道を横断しようとして信号待ちをしていたときに、信号を無視して進入してきた10tト	221	17	30～ 49

		15	トラックに跳ねられた。			
2002	4	11 ～ 12	郵便配達のため軽ワゴン車で走行中、右折するために停車していたところへ後ろから来た乗用車に追突され、そのはずみで対向車線にはみ出しダン プカーと正面衝突した。	231	17	10～ 29
2002	2	14 ～ 15	排気量90ccのバイクで郵便物の集配作業中、市道交差点で乗用車と出会い頭に衝突した。	231	17	100 ～ 299
2001	8	16 ～ 17	営業業務を終えて会社に戻る途中、交差点で信号が青に変わり横断していたところ、左折してきたトラックに衝突された。	221	17	50～ 99
2001	8	9 ～ 10	バイクで道路を走行中、左前方から道路に出ようとしたトラクターの前方部分と接触し転倒した。	231	17	30～ 49
2001	10	11 ～ 12	郵便の配達、貯金・保険の集金のためオートバイに乗って走行中、踏切(警報機、遮断機のない幅1.8mの踏切)を渡ろうとしたときに下り普通列車(2両編成)に跳ねられた。	231	17	30～ 49
2001	4	11 ～ 12	オートバイで集配業務中、村道交差点の出合いがしらに幼稚園バスと衝突した。	231	17	10～ 29
2001	4	11 ～ 12	バイクで郵便物の配達中、市道交差点において2tトラックと出会い頭に衝突した。	231	17	100 ～ 299
2001	3	16 ～ 17	業務用自動二輪車で郵便集配業務のため走行中、信号機のない交差点で西方向から直進してきた乗用車と出会い頭に衝突した。	231	17	300 ～ 499
2001	2	15 ～	90ccの自動二輪車で郵便物を配達中、信号機の無い県道交差点内において軽乗用車と出会い頭に激突した。	231	17	10～ 29

		16			
2000	11	10 ～ 11	郵便物の配達のためミニバイクで狭い道路から国道へ出るため、信号のない交差点(T字路)を右折したときに、左方向から走行してきた乗用車と出会い頭に衝突した。	231	17 50～ 99
2000	9	11 ～ 12	バイクで郵便配達中、市道の交差点を左折したときに、左方より走行してきた普通乗用車と衝突した。	231	17 100 ～ 299
1999	8	9 ～ 10	郵便配達業務を終えて軽自動車です町道を走行中、交差点において左方から来た軽トラックと衝突し、その反動で交差点角にある電柱に当たった。	231	17 10～ 29
1999	1	0 ～ 1	普通乗用車で走行中、交差点で大型トラックと衝突した。	231	17 10～ 29
1999	2	18 ～ 19	バイクで郵便物の配達中、市道交差点で右折しようとしたところへ直進してきた軽乗用車が衝突した。	231	17 100 ～ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311\\_01.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.html)に戻る。